

小田原保健医療学部 看護学科 履修系統図 (2023年度入学生から)

分野・領域	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
人間系	教育学(英:必修) 文学論 心理学 哲学 雑談と傾聴～話す力と聴く力～ 歴史学 死生学-死を通して生を考える	コミュニケーション概論 演劇論 人間学 倫理学 宗教学 日本近現代史 文化人類学							
社会系	法学(保:選択必修、養:必修) 経済学基礎I(経済学原論) 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	海外保健福祉事情 経済学基礎II(日本経済論) 法と道徳・倫理 社会学 マスメディア論 国際医療福祉論 組織運営管理論 医療関連法規 ボランティア論							
自然・情報系	データリテラシー 物理学 化学 生物学 医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報- 人間工学 医学/医療史	統計学 データサイエンスとAIの基礎	医療データサイエンスI(DS基礎)	医療データサイエンスII(AI基礎)					
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- メディカルマナー入門	総合講義 医療福祉教養講義							
外国語系	英語A-1(講読基礎) 英語B-1(聴解・発話基礎) ドイツ語初級1(基礎) 中国語初級1(基礎) 資格英語1(Primary) 基礎英文法1(Primary) 日本語I-A(作文) ^{注1)} 日本語I-B(文法・語彙) ^{注1)}	英語A-2(講読応用) 英語B-2(聴解・発話応用) ドイツ語初級2(応用) 中国語初級2(応用) 資格英語2(Basic) 基礎英文法2(Basic) 日本語II-A(作文) ^{注1)} 日本語II-B(文法・語彙) ^{注1)}	英語A-3(講読中級1) 英語C-1(英会話初級)	英語A-4(講読中級2) 英語C-2(英会話中級)			日本語III-C(発表討論) ^{注1)} 日本語III-D(専門日本語) ^{注1)}		
保健体育系	健康科学理論(保:選択必修、養:必修) 健康科学実践(保:選択必修、養:必修)								
専門基礎	公衆衛生学 保健医療福祉制度論 臨床心理学概論 ケースワーク論 社会福祉学 解剖学I(運動器系・内臓学・循環器系) 生理学I(植物性機能) 栄養学 微生物学	リハビリテーション概論 医療管理学 福祉支援工学概論 リスクマネジメント論 解剖学II(内臓学・神経系) 生理学II(動物性機能・内分泌)	医療情報学概論	関連職種連携論 ケアマネジメント論 生体情報処理概論 救急医学(英) 保健統計学I(基礎) 看護英語I(基礎)	関連職種連携ワーク 看護英語II(発展)	看護学実習(若干名) ^{注2)}			
養護教諭コース 専門基礎科目	教職入門(英) 発達心理学(英) 教育課程論(英)	特別支援教育概論(英)	教育方法論(英) 看護概論(英) 特別活動及び総合的な学習の時間の基礎(英)	道徳教育の理論と実践(英) 教育相談の基礎と方法(英) 生徒指導論(英)	学校看護学実習	教職実践演習(養護教諭)(英)			
保健師コース 専門基礎科目					保健統計学II(発展)(保)				
専門分野	基礎看護学 看護援助論I(看護援助の基本) 看護援助論II(看護援助の発展) 看護過程演習 基礎看護学実習I(基礎)	看護コミュニケーション論 看護援助論II(生活援助) フィジカルアセスメントI(基礎) 看護過程演習 基礎看護学実習I(基礎)	看護援助論III(診療援助) フィジカルアセスメントII(発展) 看護過程演習 基礎看護学実習II(発展)	リプロダクティブヘルス看護学概論 小児看護学概論 成人看護学概論 老年看護学概論 精神看護学概論 地域・在宅看護学概論	リプロダクティブヘルス看護学方法論 リプロダクティブヘルス看護学演習 小児看護学方法論 小児看護学演習 成人看護学方法論I(急性期・周手術期看護) 成人看護学方法論II(慢性期看護) 老年看護学方法論 精神看護学方法論 地域・在宅看護学方法論I(地域生活の理解)	リプロダクティブヘルス看護学実習 小児看護学実習 成人・老年看護学実習I(急性期看護) 成人・老年看護学実習II(慢性期看護) 成人・老年看護学実習III(高齢者の理解) 成人・老年看護学実習IV(健康障害のある高齢者の看護) 精神看護学実習 地域・在宅看護学演習 地域・在宅看護学実習			
公衆衛生看護学		公衆衛生看護学概論	健康教育・保健指導論						
看護の統合と実践	フィールド体験実習		看護倫理学 家族看護論	看護管理論 災害看護論	国際看護論 バリアティブケア ^{注4)} 看護マネジメント実習 統合看護実習	看護研究 看護研究法概説	看護研究 看護研究法概説		
養護教諭コース 専門科目					看護実習(英)				
保健師コース 専門科目					公衆衛生看護学対象別活動論(保) 学校における看護活動(保) 公衆衛生看護学方法論I(基礎)(保) 公衆衛生看護学実習II(活動の展開)(保) 公衆衛生看護学実習III(管理)(保)	公衆衛生看護学方法論II(発展)(保) 産業における看護活動(保) 公衆衛生看護学管理論(保) 公衆衛生看護学実習I(健康支援)(保)	健康危機管理論(保) 保健医療福祉行政論(保)		

カリキュラムポリシー

CP1:看護専門職者としての基盤となる社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけるための科目を設定する。

CP2:看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、関連職種の機能を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけるための科目を設定する。

CP3:個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけるための科目、および、看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけるための科目を設定する。

CP4:未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための基盤力と探究力を身につけるための科目、および、看護専門職者としての責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけるための科目を設定する。

ディプロマポリシー

DP1:看護専門職を目指す者として、社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけている。

DP2:看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、関連職種の機能を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけている。

DP3:個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけている。

DP4:看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけている。

DP5:未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための専門職業人としての基盤力と探究力を身につけている。

DP6:看護専門職を目指す者として、責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけている。

総合教育

専門基礎

専門

必修科目
選択科目

注1) 留学生用日本語科目
注2) 関連職種連携実習(選択科目)は人数に限りがあるため履修登録が多い場合は選考とする
注3) 統合看護演習と統合技術演習は選択科目であるが、学科の履修指導に従うこと
注4) バリアティブケア(選択科目)は3年前期に必修科目が多いので4年前期で履修のこと